



2025年1月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年3月12日

上場会社名 モイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5031 URL <https://about.moi.st/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 入山 高光 TEL 03-3527-1471
 定時株主総会開催予定日 2025年4月24日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2025年4月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期の業績（2024年2月1日～2025年1月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	6,592	2.5	232	63.0	256	63.5	27	△85.7
2024年1月期	6,433	△2.6	142	36.7	156	48.8	194	263.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年1月期	1.99	1.99	1.5	6.6	3.5
2024年1月期	13.90	13.89	11.2	4.4	2.2

(参考) 持分法投資損益 2025年1月期 -百万円 2024年1月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	4,139	1,871	45.2	134.03
2024年1月期	3,679	1,844	50.1	132.04

(参考) 自己資本 2025年1月期 1,871百万円 2024年1月期 1,844百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月期	765	△41	△0	2,983
2024年1月期	479	△6	11	2,260

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年1月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,610	0.3	115	△50.2	129	△49.3	—	—	—

当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、本資料の発表日現在において、適正かつ合理的に繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難であることから、未定としております。詳細は資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年1月期	13,966,000株	2024年1月期	13,966,000株
2025年1月期	—株	2024年1月期	—株
2025年1月期	13,966,000株	2024年1月期	13,966,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(貸借対照表に関する注記)	10
(損益計算書に関する注記)	10
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や円安に伴うインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復傾向となりました。一方で、物価の上昇傾向の継続、不安定な国際情勢や金融資本市場の変動等により、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2024年9月末時点の移動系通信の契約数は、2億1,798万回線（前年同期比3.0%増）と増加が続いております。（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（令和6年度第2四半期（9月末））」）。また、当社がターゲットとしている動画投稿・ライブ配信サービス市場におきましては、グローバルSNSプラットフォームを中心として、ライブ配信サービスの利用者は引き続き増加傾向にあり、今後も市場は成長していくことが予想されます。

このような事業環境のもと、当社では、当社サービス「ツイキャス」におけるユーザー満足度の継続的な向上と、文化・経済両面からのプラットフォーム規模拡大に努めました。

ユーザー満足度向上のための施策としては、人気キャラクターとのコラボレーションイベント、バレンタインやハロウィンなどの季節イベントに連動した限定アイテム公開、配信者とリスナー双方のエンゲージメントを高めるユーザー参加型キャンペーン、新しい公式キャラクター「ソノヒグラシ」のデビュー等を実施しました。

また、プラットフォームの規模拡大に向けては、配信音声のリアルタイム文字起こし機能「ライブ字幕」の公開、スマホだけで手軽に3Dアバター配信が可能となる「3Dアバター」機能の公開、「Moi Records」による歌い手文化促進イベントなどを通じて配信文化の多様性拡大に努め、さらにプラットフォームの経済活動の範囲拡大及び活性化を目指して、収益化サービスの海外対象エリア拡大等を実施しました。

その結果、当社の重要指標の一つである月間平均ポイントARPPU（Average Revenue Per Paid Userの略、課金ユーザー一人当たりの平均課金額）は6,768円（前期比3.1%増）と堅調に推移しました。また、実質売上総利益（当社が獲得する売上高合計から、収益化された配信者に対してお支払する報酬額と、Apple Inc.、Google Inc.等の決済代行業者に対して支払う手数料を差し引いた金額）については、配信者を毎月定額の会員費で応援することができる「メンバーシップ」の売上成長が通期で継続した影響等により、1,776百万円（前期比4.0%増）となりました。一方で、国内ライブ配信サービス市場におけるグローバルプラットフォームの利用者増加とクリエイター活動の多様化による競争環境の変化の影響により、月間平均ポイントPU（Paid Userの略、課金ユーザー数）は当初想定を下回り、72千（前期比3.0%減）となり、その結果、「ツイキャス」のポイント販売売上は5,916百万円（前期比0.0%増）となりました。販売費及び一般管理費においては、サービス提供にかかるインフラ費用は、サーバー設備投資が一段落したことによる減価償却費の減少とデータトラフィックの最適化の影響による通信費の圧縮等により575百万円（前期比4.4%減）、手数料費用はメンバーシップ売上の成長に伴うアプリ決済数の増加等の影響により1,585百万円（前期比5.3%増）、マーケティング費用は各種施策の費用対効果が改善された結果、コスト圧縮に成功し118百万円（前期比22.1%減）、体制強化費用は定期昇給や中途採用等を推進したことにより628百万円（前期比5.6%増）となり、結果、販売費及び一般管理費は3,129百万円（前期比2.0%増）となりました。また、音楽著作権管理団体（以下、管理団体）と協議事項の適切な解決に向けて交渉をしており、それに関連し発生する費用160百万円を特別損失に計上し、さらに今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産は115百万円（前期比6.3%増）となり、その結果、法人税等調整額を△6百万円（△は利益）計上しました。

以上の結果、当事業年度の実績は、売上高が6,592百万円（前期比2.5%増）、営業利益は232百万円（前期比63.0%増）、経常利益は256百万円（前期比63.5%増）、当期純利益は27百万円（前期比85.7%減）となりました。

なお、当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における資産合計は4,139,536千円となり、前事業年度末に比べ459,884千円増加いたしました。

流動資産は3,767,321千円（前事業年度末比473,323千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加807,612千円、売掛金の減少222,188千円、預け金の減少84,979千円、未収還付法人税等の減少17,933千円、前渡金の減少17,847千円等によるものであります。

また、固定資産は372,215千円（前事業年度末比13,439千円減少）となりました。主な要因は、繰延税金資産の増加6,871千円、保証金の回収等による差入保証金の減少11,998千円、減価償却費の計上等による工具、器具及び備品の減少9,949千円等によるものであります。

（負債）

当事業年度末における負債合計は2,267,629千円となり、前事業年度末に比べ432,053千円増加いたしました。

流動負債は2,267,629千円（前事業年度末比432,053千円増加）となりました。主な要因は、管理団体と協議事項の適切な解決に向けて交渉をしており、それに関連し発生する費用を含む未払費用の増加160,533千円、ユーザーへの支払報酬である買掛金の増加99,922千円、チケット・コンテンツの売買代金及び「メンバーシップ」の会員費である預り金の増加103,282千円、未払法人税等の増加74,746千円、取引先への支払である未払金の減少45,158千円、販売したポイントの未利用残高等である前受金の増加35,352千円等によるものであります。

また、固定負債はございません。

（純資産）

当事業年度末における純資産合計は1,871,907千円となり、前事業年度末に比べ27,830千円増加いたしました。

これは、当期純利益の計上による利益剰余金の増加27,830千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.2%（前事業年度末は50.1%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前事業年度末と比べ722,633千円増加し、2,983,505千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動により獲得した資金は、765,610千円（前年同期は479,028千円の資金の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額222,188千円、その他の流動負債の増加額164,019千円、預り金の増加額103,282千円、仕入債務の増加額99,922千円、税引前当期純利益の計上96,180千円、減価償却費の計上61,649千円、前受金の増加額35,352千円、法人税等の還付額17,933千円、未払金の減少額45,158千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動により支出した資金は、41,338千円（前年同期は6,785千円の資金の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出51,247千円、保証金の差入による支出20,883千円、保証金の回収による収入30,792千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動により支出した資金は、110千円（前年同期は11,151千円の資金の獲得）となりました。これは、リース債務の返済による支出110千円によるものであります。

（4）今後の見通し

雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、景気は緩やかな回復傾向である一方で、円安進行や物価上昇の継続等を踏まえ、将来の見通しを立てることは困難な状況にあると考えておりますが、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場におきましては、グローバルSNSサービスにおけるライブ配信サービス利用者の増加をドライバーとして、今後も堅調に成長していくことが予想されます。

当社では、継続的な事業成長の実現を第一と考え、その基盤となるプラットフォームの規模拡大に注力しつつ、収益基盤の強化をより一層推進してまいります。

このような経営方針のもと、2026年1月期においても、当社事業が、グローバルライブ配信サービスの成長による競争環境の変化及びクリエイター活動の多様化の影響を一定程度受け続けることを前提として、売上高については、6,610百万円（前期比0.3%増）を予想しております。また、販売費及び一般管理費については、決済にかかる手数料はアプリ決済の増加傾向が一定程度継続することを想定し1,662百万円（前期比4.9%増）、インフラ関連費用はさらなるコスト最適化を見込んで543百万円（前期比5.5%減）、マーケティング費用はユーザー満足度の向上とプラットフォーム規模拡大に向けて積極的に投資を行う方針により181百万円（前期比53.7%増）、体制強化費用は中途採用や昇給を推進する方針により691百万円（前期比10.0%増）、をそれぞれ見込んでおり、営業利益は115百万円（前期比50.2%減）、経常利益は129百万円（前期比49.3%減）を予想しております。

なお、当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、本資料の発表日現在において、適正かつ合理的に繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難であることから、未定としております。また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性の確保を重視する観点から、日本基準の会計基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用については、当社の事業領域や範囲の拡大、新規事業への進出、株主構成や同業他社を含めた国内上場企業全体の動向を踏まえ、適切な対応を行っていく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,016	2,978,629
売掛金	988,642	766,454
預け金	89,855	4,875
棚卸資産	※ ₁ 124	※ ₁ 395
前払費用	4,352	812
前渡金	20,912	3,064
未収入金	1,398	13,325
未収還付法人税等	17,933	—
貸倒引当金	△237	△237
流動資産合計	3,293,997	3,767,321
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	170,993	161,044
建物附属設備 (純額)	—	1,728
リース資産 (純額)	91	0
有形固定資産合計	※ ₂ 171,084	※ ₂ 162,772
投資その他の資産		
差入保証金	※ ₃ 105,692	※ ₃ 93,693
繰延税金資産	108,877	115,749
投資その他の資産合計	214,570	209,442
固定資産合計	385,654	372,215
資産合計	3,679,652	4,139,536
負債の部		
流動負債		
買掛金	754,318	854,241
未払金	332,262	287,103
未払費用	5,763	166,297
前受金	178,273	213,625
未払法人税等	711	75,458
未払消費税等	52,903	56,389
預り金	511,230	614,513
リース債務	110	—
流動負債合計	1,835,575	2,267,629
負債合計	1,835,575	2,267,629

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	1,944,774	1,944,774
資本剰余金合計	1,944,774	1,944,774
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△150,697	△122,866
利益剰余金合計	△150,697	△122,866
株主資本合計	1,844,077	1,871,907
純資産合計	1,844,077	1,871,907
負債純資産合計	3,679,652	4,139,536

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
売上高	6,433,375	6,592,963
売上原価	3,221,159	3,230,726
売上総利益	3,212,216	3,362,237
販売費及び一般管理費	※1 3,069,557	※1 3,129,669
営業利益	142,658	232,568
営業外収益		
受取利息	25	659
受取手数料	11,747	22,936
為替差益	1,658	—
雑収入	633	1,653
営業外収益合計	14,065	25,249
営業外費用		
為替差損	—	1,528
雑損失	—	108
営業外費用合計	—	1,637
経常利益	156,724	256,180
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	※2 8,078	—
取引協議費用	—	※3 160,000
特別損失合計	8,078	160,000
税引前当期純利益	148,646	96,180
法人税、住民税及び事業税	958	75,221
法人税等調整額	△46,418	△6,871
法人税等合計	△45,459	68,349
当期純利益	194,105	27,830

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,106,687	876,815	—	876,815	△344,802	△344,802	1,638,699	1,638,699
当期変動額								
新株の発行 (新株予約権の 行使)	11,272						11,272	11,272
減資	△1,067,959	△876,815	1,944,774	1,067,959			—	—
当期純利益					194,105	194,105	194,105	194,105
当期変動額合計	△1,056,687	△876,815	1,944,774	1,067,959	194,105	194,105	205,377	205,377
当期末残高	50,000	—	1,944,774	1,944,774	△150,697	△150,697	1,844,077	1,844,077

当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	50,000	—	1,944,774	1,944,774	△150,697	△150,697	1,844,077	1,844,077
当期変動額								
当期純利益					27,830	27,830	27,830	27,830
当期変動額合計	—	—	—	—	27,830	27,830	27,830	27,830
当期末残高	50,000	—	1,944,774	1,944,774	△122,866	△122,866	1,871,907	1,871,907

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	148,646	96,180
減価償却費	82,552	61,649
固定資産除却損	0	—
減損損失	8,078	—
為替差損益 (△は益)	△1,658	1,528
受取利息	△25	△659
受取手数料	△11,747	△22,936
売上債権の増減額 (△は増加)	180,693	222,188
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△271
前渡金の増減額 (△は増加)	△20,498	17,847
前払費用の増減額 (△は増加)	△19	3,539
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,118	△11,927
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46,950	99,922
前受金の増減額 (△は減少)	29,568	35,352
預り金の増減額 (△は減少)	123,257	103,282
未払金の増減額 (△は減少)	△36,194	△45,158
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	32,294	164,019
小計	470,864	724,556
利息の受取額	25	659
受取手数料の受取額	11,747	22,936
法人税等の支払額	△3,608	△475
法人税等の還付額	—	17,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,028	765,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,908	△51,247
保証金の差入による支出	△3,876	△20,883
保証金の回収による収入	—	30,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,785	△41,338
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△120	△110
株式の発行による収入	11,272	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,151	△110
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,658	△1,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	485,054	722,633
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,817	2,260,871
現金及び現金同等物の期末残高	2,260,871	2,983,505

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)
 該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)
 該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
貯蔵品	124千円	395千円

※2 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
減価償却累計額	287,804千円	346,934千円

※3 「資金決済に関する法律」に基づき東京法務局に供託している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年1月31日)	当事業年度 (2025年1月31日)
差入保証金	69,899千円	78,640千円

(損益計算書に関する注記)

※1 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度59%、当事業年度60%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度41%、当事業年度40%であります。
 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
支払手数料	1,666,436千円	1,756,404千円
広告宣伝費	140,182千円	102,406千円
通信費	488,072千円	483,625千円
給料手当	309,476千円	330,945千円

※2 減損損失

前事業年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

当社は以下の資産について減損損失を計上しました。

①減損損失を認識した資産

本社移転に伴う減損損失

種類	用途・場所	減損損失
建物附属設備	本社事務所・東京都千代田区	1,110千円
敷金	本社事務所・東京都千代田区	6,968千円
合計		8,078千円

②減損損失の認識に至った経緯

本社移転に伴う減損損失

当事業年度において、本社移転に係る意思決定を行ったため、上記資産について、帳簿価額を回収可

能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は敷金の返還予定額として評価しております。

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
該当事項はありません。

※3 取引協議費用

前事業年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

音楽著作権管理団体（以下、管理団体とする。）の当社に対する監査手続の過程で、当社サービス「ツイキャス」での楽曲利用に伴う収入報告の内容において、報告対象となる収入範囲に係る管理団体と当社間における認識の齟齬が顕在化したため、本事案の適切な解決に向けて交渉をしており、それに関連し発生する費用160,000千円を取引協議費用として計上しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主なサービス提供先は、ライブ配信サービスの利用者(一般ユーザー)であるため、損益計算書の売上高の10%を超える主要な顧客は存在いたしません。なお、Apple Inc. 及びGoogle Inc. はプラットフォーム提供会社、PAY株式会社は決済代行会社であり、それらの会社を通じて、当社が提供するサービス利用者(一般ユーザー)のサービス利用料等が入金されております。

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Apple Inc.	2,820,240	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業
PAY株式会社	1,673,937	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業
Google Inc.	1,477,916	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

当事業年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主なサービス提供先は、ライブ配信サービスの利用者（一般ユーザー）であるため、損益計算書の売上高の10%を超える主要な顧客は存在いたしません。なお、Apple Inc. 及びGoogle Inc. はプラットフォーム提供会社、PAY株式会社は決済代行会社であり、それらの会社を通じて、当社が提供するサービス利用者（一般ユーザー）のサービス利用料等が入金されております。

（単位：千円）

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
Apple Inc.	2,998,405	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業
PAY株式会社	1,565,857	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業
Google Inc.	1,512,998	ライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり純資産額	132.04円	134.03円
1株当たり当期純利益	13.90円	1.99円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	13.89円	1.99円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	194,105	27,830
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	194,105	27,830
普通株式の期中平均株式数(株)	13,966,000	13,966,000
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(株)	3,705	509
(うち新株予約権(株))	(3,705)	(509)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類(新株予約権の数458個(普通株式519,000株))。	新株予約権2種類(新株予約権の数458個(普通株式519,000株))。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。